

CASBEE神戸ver.3

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-8D_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新中央区総合庁舎	階数	地上13階 地下1階
建設地	神戸市	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	1,000 人
地域区分	6地域	年間使用時間	4,000 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、集会所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年6月 予定	評価の実施日	2020年 3月 13日
敷地面積	3,597 m ²	作成者	奥村 由和
建築面積	1,881 m ²	確認日	
延床面積	19,342 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 3.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べてライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
Q1 室内環境: 4
Q3 室外環境(敷地内): 3
LR1 エネルギー: 2
LR2 資源・マテリアル: 4
LR3 敷地外環境: 3

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

音環境: 3.2, 温熱環境: 3.5, 光・視環境: 3.5, 空気質環境: 4.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 4.1

機能性: 4.1, 耐用性: 4.7, 対応性: 3.5

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.1

生物環境: 3.0, まちなみ: 5.0, 地域性・: 4.0

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.2

建物外皮の: 5.0, 自然エネ: 3.0, 設備システ: 4.6, 効率的: 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 4.1

水資源: 3.8, 非再生材料の: 4.2, 汚染物質: 4.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

地球温暖化: 3.9, 地域環境: 3.3, 周辺環境: 3.3

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 3.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 5.0 Q-2/2.4 信頼性 4.8	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準を満たし、さらに建築物移動等円滑化誘導基準を極力満足させる計画とする。	配慮の概要 地上躯体は免震構造を採用しており、大地震時においても構造躯体が損傷しない(短期許容応力度以下)ことを目標としている。	配慮の概要 低層部分は旧居留地地区の街並みと調和した格子状のフレームに緑化プランターを一体化させたデザインとし、まちのシンボルとして『緑のシティコア』を形成。東面の高層部分はスカイデッキによる伸びやかな水平ラインを強調した外観とし、眺望を確保しながら日射負荷の軽減を図る。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される